

2025

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾表現学科
4 年次（2022 年度生）

【整理番号】

■専門科目■

- 【1】 卒業制作企画(衣装デザイン・制作)
- 【1】 卒業制作企画(スタイリング)
- 【1】 卒業制作企画(ビジュアルマーチャンダイジング)
- 【1】 卒業制作企画(メディア表現〈映像・ショープロデュース〉)
- 【2】 卒業制作(衣装デザイン・制作)
- 【2】 卒業制作(スタイリング)
- 【2】 卒業制作(ビジュアルマーチャンダイジング)
- 【2】 卒業制作(メディア表現〈映像・ショープロデュース〉)

■教養科目■

- 【3】 言語と服飾文化

■学芸員■

- 【4】 博物館実習

履修科目単位内訳表

(2022年度生用)

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

授業科目の区分と履修方法			修 得 単 位 数
専 門 科 目	必 修		59
	選択必修		10
	選 択		21
専門科目合計			90 単位
教 養 科 目	初 年 次	必 修	10
	一 般 体 育 国際関係	選 択	16
	外 国 語	選択必修	8
教養科目合計			34 単位
総 合 計			124 単位

卒業制作企画

大町 志津子、瀧川 美佐子

服飾表現学科 4年 前期 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

卒業制作に向けて、担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導を元にこれまでの学修成果を踏まえ各自の研究対象を見定め衣装表現におけるより高度な知識、技術、感性を修得する。

■到達目標（学修成果）

テーマやデザインを研究する事で衣装表現者としての資質を得る事ができ、卒業制作において例えばスタジオでのライティング、背景の美術、ヘアメイク、スタイリングなどの考察を深め、撮影を行い、独創的で説得力のあるトータルイメージを構築した衣装を表現できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。服飾表現学科の衣装デザイン専攻の学生にとって必修であり、衣装表現者としての表現方法を学ぶ科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対して随時講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

Patterns of Fashion Janet Arnold著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana著

■オフィスアワー・研究室

日野校舎G101 オフィスアワー：水曜日11:00-12:00

■備考

進度により日程及び内容を変更する場合もある。
感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大町	卒業制作に向けてのオリエンテーション 研究テーマの検討	予習：研究テーマの検討 復習：研究テーマを深める	60分
2回 瀧川	制作（パターン1）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
3回 大町	デザイン相談（人物考察のイメージづくり）	予習：イメージ作り 復習：イメージを深める	60分
4回 瀧川	制作（パターン2）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
5回 大町	デザイン相談（生地・服飾素材なども含む）	予習：素材のリサーチと収集 復習：素材の再検討	60分
6回 瀧川	制作（トワル仮縫い）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
7回 大町	空間の中での衣装の認識・スタジオ演習	予習：撮影の企画書作成 復習：制作を進める	60分
8回 瀧川	制作（実物仮縫い）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
9回 大町	トータルイメージに向けての考察	予習：トータルイメージを深める 復習：制作を進める	60分
10回 瀧川	制作	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
11回 大町	トータルイメージに向けての総合チェック	予習：撮影の企画書作成 復習：制作を進める	60分
12回 瀧川	作品完成最終チェック	予習：企画書考察 復習：世界観の構築	60分
13回 大町	モデルでの撮影（ヘアメイク、照明、背景） キャラクターの世界観を最終的に完成させる	予習：世界観の表現を深める 復習：ポートフォリオ作成	60分
14回 瀧川	合同講評会：後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション	予習：合同講評会に向けての準備をする	60分
15回 大町	プレゼンテーション・ディスカッション、ポートフォリオ提出	予習：プレゼンテーションの準備	60分

卒業制作企画

中村 のん、数井 靖子

服飾表現学科 4年 前期 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

スタイリストの仕事は、時代をいち早く読み取り、それをファッションに反映させ、ビジュアルを通して発信していくことが常に求められる。2年で学んだ時代や社会とファッションの関連性、3年で学んだ「人を魅力的に見せるフォトジェニックなスタイリング」を踏まえた上で、現在注目されているリユース、リサイクルの発想も取り入れ、「リユース、リメイクによるファンタスティックな世界」をテーマとして衣装制作とスタイリングを行い、3年で学んだ写真世界の知識を生かして撮影を行い、最終的にポスター制作を行う。また、ファッションに関連する個人的に興味のあるテーマを深掘りする形で年間かけ研究ノートを作成。

■到達目標（学修成果）

2年、3年で学んだ知識の集大成として、「自分ならではの」個性を發揮した「ファンタスティックな世界」を作り上げることで社会に出てゆく上での自信に繋がります。また、言葉と作品を通して堂々とプレゼンできる自信と能力を身につけます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポート・感想文等は翌週返却する。課題・作品は、返却時にフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる。

■参考文献

必要に応じて授業時に指示。授業担当者所蔵の写真集、書籍等を研究室に保管して、必要に応じて使用。授業時に使用する映画のDVD や書籍に関して、図書館から借りる、購入する、レンタルする等に関しては、事前にタイトルを伝え準備する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎 B203

■備考

リサーチやフィールドワークの内容により学外に出ることもあります。授業内容と関連のあるプロをゲストとして招く可能性もあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中村	卒業作品テーマ「リユース、リメイクによるファンタスティックな世界」についてのオリエンテーション	予習：環境問題書籍の読書感想レポート提出 復習：テーマ内容の方向性を検討	90分
2回 中村	衣装制作のイメージを元に演習として「リメイクによるファンタスティックなバッグ」制作するにあたりオリエンテーション	復習：講義を元に、自分なりの資料集め デザインを考える	90分
3回 中村	リメイクバッグデザイン画提出。バッグ制作開始。アパレル業界が抱える環境問題についての講義とディスカッション。	予習：バッグデザインラフスケッチ提出 準備：素材集め	90分
4回 数井	リメイクバッグ制作。スキルアップを目指した指導	準備：素材集め 復習：バッグ制作	90分
5回 中村	リメイクバッグ制作。担当教員の実務経験を踏まえた指導の下、「バッグに合わせたスタイリング」のチェック。	準備：素材集め、撮影衣装のスタイリング 復習：バッグ制作	90分
6回 数井	リメイクバッグ提出。「バッグに合わせたスタイリング」のスタジオ撮影。	準備：撮影衣装のスタイリング 復習：写真セレクト	90分
7回 中村	撮影の講評。フォトジェニックな服、インパクトのあるスタイリングについて講義。研究ノート講義・卒業制作の企画提出。	予習：提出に向けての作業 復習：写真プリント ボード作成	90分
8回 数井	リメイクバッグ撮影ボード提出。スタイル画ラフ制作。資料閲覧	予習：デザイン資料収集	90分
9回 数井	デザイン画指導	予習：ラフスケッチ	90分
10回 数井	「研究ノート」の企画提出とフィードバック。卒業制作衣装デザイン決定。	予習：「研究ノート」の案を考える	90分
11回 中村	デザイン画を元に生地選び等に関して店舗、問屋をリサーチしながらの指導	予習：復習：デザイン画作成	90分
12回 数井	決定したデザイン画を元に制作するにあたって個々への指導。制作開始	準備：素材集め	90分
13回 中村	「合同講評会」に向けたプレゼンテーションの練習、及び担当教員によるフィードバック	予習：プレゼンに向けた原稿作成	90分
14回 中村	「合同講評会」 後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション	準備：プレゼン資料作成	90分
15回 中村	「合同講評会」での結果を踏まえた上で、作品の方向性・企画内容の検討	予習・復習：授業外でも制作を進める	90分

卒業制作企画

角倉 典彦、千代崎 寛、澤野 洋士

服飾表現学科 4年 前期 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

服飾表現学科メディア専攻(映像・ショープロ)の卒業制作は、専攻分野で今まで学んだ知識やノウハウ、技術を駆使して、メディア表現作品を具現化することである。見る人に制作者の意図や思いが伝わり、納得させる「作品」を制作する。前期はその準備段階として、製作プロセスを確認するための制作演習、リサーチと企画、具体的な撮影/制作の準備を行う。また作品提出に伴う各種データやポートフォリオの作成に必要な2次元の編集技術も修得する。

■到達目標(学修成果)

作品制作のために、徹底した企画を練り、リサーチを繰り返し、企画書、構成台本、撮影/制作プランなどの企画を構築できるトータルな制作能力を身につけ、同時に作品提案のプレゼンテーション能力も身につけることが目標である。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科メディア専攻の必修科目で卒業認定単位となる。

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出物及びプレゼンテーションに関しては、授業内で講評やディスカッションを行いフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて、資料/プリントを適宜配布する。

■参考文献

各自のテーマにあわせて、その都度紹介する。

■オフィスアワー・研究室

初回授業で指示する。連絡：教務課 研究室：日野校舎B105映像・メディア表現研究室

■備考

作品企画の各自の進捗状況にあわせて、日程及び内容は変更することがある。
準備学習の必要時間は目安であって、各自の制作企画の進捗状況にあわせて必要な時間を確保すること。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	ガイダンス/オリエンテーション 全体スケジュールの確認、個人面談	予習: シラバスの確認 復習: 企画構想	60分
2回 千代崎	個人企画案プレゼンテーション、研究ノート作成 テーマ/コンセプト策定、企画編集技術	予習: 卒業制作の方向性の再検討 復習: 研究ノート作成	60分
3回 角倉	個人面談、個人企画プレゼンテーション	予習: リサーチレポートの作成 復習: 研究ノート作成	60分
4回 澤野	課題制作、課題提示。企画検討、リサーチ。	復習: 企画案制作	120分
5回 澤野	課題制作 企画提案プレゼンテーション。撮影準備、ロケーションハンティング	復習: 課題整理	60分
6回 千代崎	リサーチ結果のまとめによる個人企画プレゼンテーション、研究ノート作成、企画編集技術	復習: 各自の課題整理	60分
7回 澤野	課題制作 撮影、進捗状況チェック	復習: 追加撮影等	60分
8回 澤野	課題制作 編集	復習: 編集作業	60分
9回 角倉	個人面談、個人企画プレゼンテーション	復習: 各自の課題整理	60分
10回 澤野	課題制作 完成作業、プレゼンテーションと講評	復習: 修正ポイントの確認と修正	60分
11回 千代崎	個人面談、企画進捗確認と講評、企画編集技術	予習: 事前準備	60分
12回 角倉	個人企画プレゼンテーション、準備作業	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
13回 千代崎	服飾表現学科合同卒業企画プレゼンテーション準備	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
14回 全員	合同講評会 後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション(学生と教員による専攻を横断したディスカッション)	予習: 事前準備 復習: 進捗状況の確認	60分
15回 全員	前週の反省と前期のまとめ、進捗状況プレゼンテーション。夏季休暇中の制作プランの作成	予習: 反省事項の確認 復習: 夏季休暇中制作活動の確認	60分

卒業制作企画

中島 ゆう子

服飾表現学科 4年 前期 必修 (3単位 演習)

■授業の方針・概要

リアル店舗のウィンドウディスプレイを想定し、実物大のウィンドウ作りを卒業制作とする準備期間。地球を含め環境に対するメッセージ、その他、学生が目指すテーマを各自が設定する。スケジュール管理、予算設定など実務として必要な業務をあらかじめ設定できる計画性を持つことを身につける。季節感、投入時を決定し、テーマに続くストーリー性を考える。展開アイテム、カラー、コーディネートなど売り場を含めオンライン販売などに向けて役立つ人材をつくる。

学生による表現力を高める。授業担当者のファッションプロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

■到達目標（学修成果）

売上げをアップさせる話題性、フェア催事、セール開催の仕方、新しい売り場の取り組み方など売り場運営に必要な技術を修得することができる。イラストレーター、フォトショップを使いグラフィックのスキルを上げる。将来、企業に入ってもPCが使える人材になれる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科「ビジュアルマーチャンダイジング」専攻の必修科目で卒業認定単位となる。ビジュアルマーチャンダイジングに必要な技術を修得し、実際に役立つ教科科目として必要なことは全て習得する。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出のフィードバックは、授業内で講評、解説し返却します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

改定第3版、国家検定、商品装飾展示技能検定 学科編、実技編

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは、日野校舎B棟 B205 B101

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中島	海外VMDを参考に卒業制作の計画書を作成。学生が必要と考えるテーマを構築する。＊写真やビデオで記録を残す。	予習：VMDの方向性を事前チェック	45分
2回 中島	卒業制作に係わるスケジュール管理、予算、準備用品のミーティング実施。フローチャートを作成。	復習：大まかなVMDストーリーを構築する。	45分
3回 中島	季節感、投入時決定。ファッションテーマ、ストーリー性を考える。展開アイテム、カラー、コーディネートの決定。	復習：カラー展開。イメージを考える	45分
4回 中島	計画書作成。卒業制作のストーリー、テイストのディスカッションし修正を重ねる。	復習：計画書の完成度を高める	45分
5回 中島	マネキンの着せ方、棚置きの仕方、9ボックス、マネキンを使い演習する。＊什器、マネキン使用。	予習：3Dコラージュに必要な物を用意する。	45分
6回 中島	3Dイメージコラージュの作成。 アイデアを駆使して新作コラージュを作成	復習：3Dコラージュに必要なアイテムを制作	45分
7回 中島	3Dイメージコラージュの作成、及び提出。 先週に引き続き、プロ意識でコラージュを作成する。	予習：VMDストーリーを作るにあたり事前調査の実施	45分
8回 中島	VMDストーリー、研究ノート作成①学生が作るブランドからのメッセージ性を伴う研究ノートのプランを作成。	予習：図書館、PCを駆使し、地球環境などを調べ上げる。	45分
9回 中島	VMDストーリー、研究ノート作成②。 話題性のある事項を研究し、各自で研究課題を構築する。	予習：図書館、PCを駆使し、テーマに関して興味を持ってを調べ上げる	45分
10回 中島	VMDストーリー、研究ノート作成③ 研究ノート提出。	復習：VMDストーリーを完成させる。	45分
11回 中島	スケジュールの確認。購入商品の確認。レンタル商品のチェックなど事前チェック実施。	予習：レンタル商品など必要なアイテムを調べる。	45分
12回 中島	作成するVMD小物の作り方、手法などを検討する。 素材は何か、現実的に可能なのか作成手法の研究。	復習：現実的に作成可能な手法を考える。	45分
13回 中島	プレゼンテーションに向けた資料制作、及びプレゼンテーションの練習。	復習：プレゼン準備	45分
14回 中島	服飾表現学科合同卒業企画プレゼンテーション実施。 学科専任教師からの講評	復習：プレゼンでフィードバックした箇所を考える。	45分
15回 中島	合同卒業プレゼンテーションでフィードバックされた箇所をディスカッション、及び修正。	予習：来期に向けて構想を考える。	45分

卒業制作

大町 志津子、瀧川 美佐子

服飾表現学科 4年 後期 必修 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

卒業制作に向けて、担当教員の欧米におけるオペラ、バレエ、映画等の衣装デザイナーのキャリアを活かした実践的なデザイン指導や、アパレルメーカーでのモデリスト、パタンナーとしての実務経験に基づく技術指導を元にこれまでの学修成果を踏まえ各自の研究対象を見定め衣装表現におけるより高度な知識、技術、感性を修得する。

■到達目標（学修成果）

テーマやデザインを研究する事で衣装表現者としての資質を得る事ができ、卒業制作において例えばスタジオでのライティング、背景の美術、ヘアメイク、スタイリングなどの考察を深め撮影を行い、独創的で説得力のあるトータルイメージを構築した衣装を表現できる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾表現学科の衣装デザイン専攻の必修科目で卒業認定単位となります。衣装表現者としての表現方法を学ぶ科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対して随時講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料を配布する。

■参考文献

Patterns of Fashion Janet Arnold著 Women's Dress Patterns Susan North and Jenny Tirana著

■オフィスアワー・研究室

日野校舎G101 オフィスアワー：水曜日11:00-12:00

■備考

進度により日程及び内容を変更する場合もある。
感性を磨きより広い視野を持つ事を各自心がける。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大町	夏休み課題の提出とプレゼンテーション 卒業制作に向けての各自の研究テーマの検討	予習：課題の完成 プレゼンテーション準備 復習：研究テーマを深める	60分
2回 瀧川	合同講評会： 後期「卒業制作」へ向けた中間プレゼンテーション	予習：合同講評会に向けての準備をする 復習：考察	60分
3回 大町	デザイン相談	予習：イメージ作り 復習：イメージを深める	60分
4回 瀧川	制作（パターン）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
5回 大町	空間の中での衣装の認識（スタジオ演習1）	予習：撮影企画書 復習：制作を進める	60分
6回 瀧川	制作（トワル仮縫い）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
7回 大町	デザイン相談	予習：トータルイメージを深める 復習：制作を進める	60分
8回 瀧川	制作（実物仮縫い）	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
9回 大町	空間の中での衣装の認識（スタジオ演習2，）	予習：撮影企画書 復習：トータルイメージを深める	60分
10回 瀧川	制作	予習：制作を進める 復習：制作を進める	60分
11回 大町	トータルイメージに向けての考察	予習：トータルイメージを考察 復習：トータルイメージを深める	60分
12回 瀧川	作品完成最終チェック	予習：制作を進める 復習：世界観の考察	60分
13回 大町	モデルでの撮影（ヘアメイク、照明、背景） 世界観を完成させる	予習：撮影企画書作成 復習：ポートフォリオ作成	60分
14回 瀧川	最終総合チェック	予習：展示の企画書作成 復習：ポートフォリオ再考	60分
15回 大町	プレゼンテーション・ディスカッション、ポートフォリオ提出	予習：プレゼンテーションの準備	60分

卒業制作

中村 のん、数井 靖子

服飾表現学科 4年 後期 必修 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

スタイリストの仕事は、時代をいち早く読み取り、それをファッションに反映させ、ビジュアルを通して発信していくことが常に求められる。2年で学んだ時代や社会とファッションの関連性、3年で学んだ「人を魅力的に見せるフォトジェニックなスタイリング」を踏まえた上で、現在注目されているリユース、リサイクルの発想も取り入れ、「リユース、リメイクによるファンタスティックな世界」をテーマとして衣装制作とスタイリングを行い、3年で学んだ写真世界の知識を生かして撮影を行い、最終的にポスター制作を行う。また、ファッションに関連する個人的に興味のあるテーマを深掘りする形で年間かけて研究ノートを作成。

■到達目標（学修成果）

2年、3年で学んだ知識の集大成として、「自分ならではの」個性を発揮した「ファンタスティックな世界」を作り上げることで社会に出てゆく上での自信に繋がります。また、言葉と作品を通して堂々とプレゼンできる自信と能力を身につけます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科のスタイリング専攻において卒業認定に必要な必修科目です

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポート・感想文等は翌週返却する。課題・作品は、返却時にフィードバックする

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

授業内容に合わせて授業担当者がプリントを作成して配布。学生は一冊のファイルにまとめる

■参考文献

必要に応じて授業時に指示。授業担当者所蔵の写真集、書籍等を研究室に保管して、必要に応じて使用。学生に購入を求める場合もある。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初日に伝えます 研究室：日野校舎B203

■備考

リサーチやフィールドワークの内容により学外に出ることもあります。授業内容と関連のあるプロをゲストとして招く可能性もあります。

学生が準備する備品に関しては、授業時に告知します。進展により、日程及び内容を変更する場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中村	衣装制作・研究ノートの進行状況をチェックしフィードバック	予習：作品衣装の制作 研究ノート作成	90分
2回 数井	「合同講評会」に向けたプレゼンの練習	予習：「合同講評」に向けたプレゼン用の原稿作成	90分
3回 中村	「合同講評会」	予習：プレゼン用の資料作成	90分
4回 中村	「合同講評会」の結果を踏まえた上でディスカッションし、今後の制作に向けての検討	復習：制作を進める	90分
5回 中村	衣装制作	復習：制作を進める	90分
6回 数井	衣装制作	復習：制作を進める	90分
7回 数井	衣装制作	復習：制作を進める	90分
8回 数井	衣装制作 「研究ノート」の途中チェック、フィードバック	予習：研究ノートを進める 復習：制作を進める	90分
9回 数井	衣装制作	復習：制作を進める	90分
10回 中村	モデル撮影をするにあたって、コンテ、ラフ等を作成しスタッフやスケジュールについて検討	予習：事前に下調べをして動きを決め、報告する	90分
11回 中村	衣装制作	復習：進行表作成	90分
12回 数井	衣装制作、進行表チェック	復習：撮影絵コンテ、ラフ等の作成	90分
13回 中村	撮影イメージ資料チェック	復習：制作を進める	90分
14回 中村	撮影をイメージした上での衣装のチェック	復習：制作を進める	90分
15回 数井	「研究ノート」最終チェック	復習：制作を進める	90分

卒業制作

中村 のん、数井 靖子

服飾表現学科

4年

後期

必修

(6単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 中村	モデル撮影に向けた指導（撮影イメージ、ヘアメイク、ポーズ、香盤表等もチェック）	復習：制作を進める	90分
17回 数井	衣装制作	復習：制作を進める	90分
18回 数井	衣装制作及び、ポートフォリオ作成に関する講義	復習：ポートフォリオ作成開始	90分
19回 数井	衣装制作	復習：制作を進める	90分
20回 中村	作品、及び、スタイリングチェック	準備：スタイリングに使用するアイテム集め。 イメージするヘアメイクの資料集め。	90分
21回 数井	衣装制作	復習：制作を進める	90分
22回 中村	作品衣装、スタイリング、ブラッシュアップ	復習：制作を進める	90分
23回 中村	衣装制作	復習：制作を進める	90分
24回 中村	卒業作品を着用したモデル撮影、及び、スタジオで作品撮影	予習：撮影に必要なアイテム、メイク用品、及びスタッフにイメージを伝えるための資料用意	90分
25回 数井	卒業作品を着用したモデル撮影、及び、スタジオで作品撮影	予習：スタイリング小物集め、撮影参考資料提出、モデル選定	90分
26回 数井	撮影した写真のセレクト及び、ポスター制作開始	復習：制作を進める	90分
27回 数井	ポスター制作	復習：制作を進める	90分
28回 数井	ポスター提出。研究ノート提出。ポートフォリオ提出。確認。	予習：ポスター制作	90分
29回 中村	作品仕上げ、最終確認。卒業制作発表に向けたプレゼンテーションの練習。	復習：制作を進める 復習：プレゼンテーションの練習	90分
30回 中村	卒業制作発表に向けての効果的な展示方法等を検討する	予習：展示の準備	90分

卒業制作

角倉 典彦、千代崎 寛、澤野 洋士

服飾表現学科 4年 後期 必修 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

メディア表現専攻の卒業制作は、今まで学んで得た知識やノウハウ、技術を駆使して、各自が選んだテーマをメディア表現作品として具現化することである。特に見せ方の工夫が大切。作品展示や動画の上映、配信はもとより、発表方法を各自が考え実行する。見る人に制作者の意図や思いが伝わり、納得させるための表現方法を考え、概念的なものも含め具現化することがミッションである。後期は各自のテーマ・コンセプトに沿った「メディア表現作品」を各自が選んだ制作方法で完成させる。また作品ポートフォリオや、解説カタログなどの作成も作品の一部とする。

■到達目標（学修成果）

- ・映像作品制作の場合：映像制作の全工程に携わることにより、プロとしての基本的な映像制作のノウハウの取得が可能となる。
- ・メディアアート作品制作の場合：作品制作の全工程に携わることにより、メディアアート作品制作のノウハウの取得が可能となる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現学科メディア表現専攻の必修科目で卒業認定単位となる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出物及びプレゼンテーションに関しては、授業内で講評やディスカッションを行いフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて、資料/プリントを適宜配布する。

■参考文献

各自のテーマにあわせて、その都度紹介する。

■オフィスアワー・研究室

初回授業で指示する。連絡：教務課 研究室：日野校舎B105映像・メディア表現研究室

■備考

作品企画の各自の進捗状況にあわせて、日程及び内容は変更することがある。2月の卒業制作発表期間に、上映展示作品展示とプレゼンテーション形式で制作企画/経緯を発表し、ポートフォリオ、解説カタログと作品のデジタルコピーを提出する。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 角倉	進捗状況プレゼンテーション 個人面談	予習：後期の制作計画の確認 復習：進捗状況の確認	60分
2回 全員	合同講評会 前期「合同講評会」からの中間プレゼンテーション（学生と担当教員による専攻を横断したディスカッション）	予習：中間制作パワーポイントレポートの作成 復習：講評会のフィードバック	60分
3回 澤野	追加撮影、構成確認、個人面談	予習：撮影進捗状況の確認 復習：追加取材/撮影計画の確認	60分
4回 澤野	オフライン編集	予習：事前準備 復習：進捗状況の確認	60分
5回 澤野	オフライン編集	予習：事前準備 復習：進捗状況の確認	60分
6回 千代崎	作品ポートフォリオ、解説カタログ制作準備	予習：事前準備 復習：進捗状況の確認	60分
7回 角倉	(澤野)オフライン試写/展示方法の検討 個人面談 修正	復習：問題点の整理	60分
8回 千代崎	展示方法の検討、作品ポートフォリオ、解説カタログ制作	復習：問題点の整理	60分
9回 角倉	(澤野)作品試写、展示方法の検討、個人面談、修正	予習：事前準備 復習：各自の課題整理	60分
10回 澤野	作品完成、展示方法の検討、個人面談、修正	予習：事前準備 復習：進捗状況の確認	60分
11回 角倉	作品修正、展示方法の検討、個人面談	予習：事前準備 復習：進捗状況の確認	60分
12回 千代崎	展示形式の検討、作品ポートフォリオ、解説カタログ制作	予習：事前準備 復習：進捗状況の確認	60分
13回 千代崎	展示形式の政策、作品ポートフォリオ、解説カタログ制作	予習：事前準備 復習：展示の最終確認	60分
14回 全員	作品ポートフォリオ、解説カタログ制作。プレゼンテーション準備	予習：完成カタログ/解説書の作成 復習：提出物の最終確認	60分
15回 全員	プレゼンテーション 外部評価 講評 まとめ	予習：プレゼンテーションの準備	60分

卒業制作

中島 ゆう子

服飾表現学科 4年 後期 必修 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

卒業制作としてリアル店舗のウィンドウディスプレイを作成する。服飾表現科合同企画のプレゼンテーションにおいて教師からの意見を参考にして修正を図りながら進行する。ストーリー性を再度チェックし卒業制作の視点から充分納得がいく内容になったか再度確認する。計画と制作物の内容が一致しているか確認し進行する。ディスプレイ小物は手作りし、ポスターやショップカード、ジョッパーズバッグ、ホームページなど卒業制作として完成度を高める。将来、ファッション界で適応できる能力と技術がある人材を作る。授業担当者のファッション・プロデューサーとしての実務にも触れながら授業を実施します。

■到達目標（学修成果）

店頭、ショーウィンドウなど実務として、企画立案、制作ができるようになる。売上げアップさせる話題性のある作り方、フェア催事、セールの開催の仕方、新しい売り場の組み立て方などプロとして売り場運営に必要な技術を修得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾表現科「ビジュアルマーチャンダイジング」専攻の科目で卒業認定単位となる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出のフィードバックは、授業内で評価、解説します。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

改訂版第3版 国家限定 商品装飾展示技能検定 学科編 実技編 著書：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会
発行：織研新聞社

■参考文献

新版VMD用語事典 著書：日本ビジュアルマーチャンダイジング協会 発行：織研新聞社

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは、日野校舎B棟 B101 B205

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中島	①コンセプトメイキング。どこで、何を、いつ、誰に向かって作成するのか明確にする。	予習：コンセプトに必要な事項をPCで検索。	45分
2回 中島	②コンセプトメイキング。テーマの概要を明確にし、卒業制作テーマを明確にする。	予習：コンセプトに必要な足りない資料を収集する。	45分
3回 中島	③コンセプトメイキング。PCを使いパワーポイントで仕上げる。	復習：VP計画書を作成するための資料収集。	45分
4回 中島	第2回のプレゼンテーションに向け準備。パワーポイントを活用しプレゼン資料を作成。	予習：VPイラストの完成に向けて、資料収集。	45分
5回 中島	卒業制作用VP計画書作成。店内VPスペースやウィンドウディスプレイに向け、イメージをPCにて作成。	予習：VP計画書を作成するための資料収集。	45分
6回 中島	服飾表現科合同企画からの中間プレゼンテーション準備。プレゼンテーションの練習。発声の仕方、進め方。	復習：自宅にて5分間でプレゼンが終わるように練習。	45分
7回 中島	合同企画のプレゼンテーションの実施。各教師から指摘された事項を確認し、修正するためのディスカッション。	復習：プレゼン終了後の反省とどのように修正するか自分で考える。	45分
8回 中島	④イラストレーター、フォトショップを使いポスター制作。随時、ポートフォリオ作成のための写真撮影を実施。	予習：ポスターに使用する資料収集。	45分
9回 中島	⑤イラストレーター、フォトショップを使いポスター制作。	予習：足りない資料を探す。	45分
10回 中島	⑥イラストレータ、フォトショップを使いショップカードを作成。	予習：ショップカードの内容を確認。	45分
11回 中島	⑦イラストレーター、フォトショップを使いショップカード、ジョッパーズバッグなどを作成。	予習：ホームページをどのように作るのか資料収集。	45分
12回 中島	⑧ホームページ作成。	復習：授業中にできなかったことを自宅で補足。	45分
13回 中島	⑨ホームページ作成。	復習：授業中にできなかったことを自宅で補足。	45分
14回 中島	⑩ホームページ作成。	予習：卒業制作イメージに合う店内の装飾イメージを探す。	45分
15回 中島	⑪卒業制作に必要な、店内ディスプレイのイラストを作成。	復習：授業中にできなかったことを自宅で補足。	45分

卒業制作

中島 ゆう子

服飾表現学科 4年 後期 必修 (6単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 中島	④卒業制作に必要な、店内ディスプレイのイラストを作成。	復習：授業中にできなかったことを自宅で補足	45分
17回 中島	卒業制作の予算設定、進行スケジュール修正。	復習：スケジュール管理、予算管理の見直し。	45分
18回 中島	作成した3Dコラージュの手直し及び修正。	復習：イメージコラージュの修正。	45分
19回 中島	V P 計画書の最終確認。	復習：V P 計画書が正しい方向性で仕上がったか確認。	45分
20回 中島	卒業制作① 壁面の造作開始。壁面の壁を設置する。	予習：ペンキの購入。	45分
21回 中島	卒業制作② 壁面のペンキ塗り開始。	予習：ペンキ、その他、不足品の購入。	45分
22回 中島	卒業制作③ 壁面、床のペンキ塗り完了。	予習：ディスプレイ小物オーダー。	45分
23回 中島	卒業制作④ ディスプレイ小物を手作りする。	予習：ポートフォリオ作成のための写真収集。	45分
24回 中島	卒業制作⑤ ポートフォリオのチェック。写真撮影を実施。	予習：自宅で作成できる小物を作る。	45分
25回 中島	卒業制作⑥ ディスプレイ小物を作成。	予習：ネット検索した服、雑貨をオーダーする。	45分
26回 中島	卒業制作⑦ マネキンに服を着せ、雑貨をコーディネートさせる。	予習：足りない物を補足する。	45分
27回 中島	卒業制作⑧ ディスプレイスペースの完成を目指して小物を配置。	復習：研究ノートの見直し、ポートフォリオの進行確認。	45分
28回 中島	卒業制作⑨ プレゼンテーションの準備。パワーポイントを活用	復習：プレゼンテーションの練習。	45分
29回 中島	卒業制作⑩天井の制作。布、板など各自必要な素材を用意し、天井の造作を作る。プレゼンテーションの練習。	予習：研究ノート、及びポートフォリオ最終チェック。卒展のための準備。	45分
30回 中島	卒業制作⑪ ライティングの設置。スポットライトその他、修正、完了。	予習：卒展の準備。	45分

言語と服飾文化

北澤 茉奈、安部 智子

服飾表現学科 4年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

服飾文化に関する題材を英語で読むことにより、その知識を深めるとともに、英文で書かれた内容を素早く正確に理解するための練習をします。1940～1950年代のパリ・オートクチュール（Christian DiorとCristobal Balenciaga）についてのアカデミックな英語（解説文）を扱い、語学としての英語と服飾文化の両方にフォーカスします。学生それぞれの英文解釈に対するフィードバックおよび解説、服飾に関する講義の形式で進めます。英文解釈は授業内に提出し、プロジェクターに投影する形で皆に共有します。授業毎に復習テストを実施し、前回内容と関連させながら新たな範囲を読み解いていきます。

■到達目標（学修成果）

1．英語で書かれた文章の構造を理解し、求められた情報を素早く見つけ正確に理解することができるようになる、2．辞書や検索の結果から得た情報を自分の言葉でまとめ発信することができるようになる、3．パリ・オートクチュールについての知識を増やす、の3点です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての言語と服飾文化は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

復習テスト、英文解釈は授業内で採点・解説を行います。まとめのテストは採点し返却を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

Claire Wilcox編 The Golden Age of Couture: Paris and London 1947-57 (V&A Publications)より
第6章 Dior and Balenciaga: A Different Approach to the Body (pp. 138-154)

■参考文献

必要があれば指示します。

■オフィスアワー・研究室

連絡研究室：英語研究室（研究棟3階6034）・服飾造形研究室（研究棟3階6033）

オフィスアワー：第1回目の授業で提示します。

■備考

テキストは、大型本のためコピーを用意します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。復習：授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	ディオールとバレンシアガについて	予習：テキストに目を通す。復習：復習テストに備える。	45分
3回 各自	ディオールの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
4回 各自	バレンシアガの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
5回 各自	ディオールの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
6回 各自	バレンシアガの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
7回 各自	ディオールとバレンシアガのデザイン・スピリット	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
8回 各自	ディオールとバレンシアガの制作プロセス	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
9回 各自	バレンシアガのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
10回 各自	ディオールのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
11回 各自	バレンシアガのフォルム	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
12回 各自	ディオールとバレンシアガの代表的ライン	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
13回 各自	ディオールとバレンシアガのディテール	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
14回 各自	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る。	60分
15回 各自	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る。	45分

博物館実習

落合 広倫

服飾表現学科 4年 通年(前期) 選択 (3単位 実験実習)

■授業の方針・概要

学芸員資格課程で学んだ知識をもとに、実際の博物館実務で必要な技術習得を目的とする。また、学外調査および実習旅行を行い、博物館を取り巻く現状と課題を把握するとともに、学芸員を目指す上での資質向上を目指す。

■到達目標（学修成果）

博物館実務に関する知識・技術の習得

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき博物館に関する科目の単位の一つ。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

製作物・技術習得についての講評

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

指定なし。内容に即した資料を配布します。

■参考文献

随時紹介します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。
連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階） 出講日：土曜日

■備考

授業計画は進行状況によって前後することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 落合	オリエンテーション（博物館実習の概要説明・授業計画）	予習：シラバス確認	30分
2回 落合	グループワーク（博物館の展覧会を企画する）	予習：プレゼンテーション準備	30分
3回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
4回 落合	拓本用墨作成	予習：調査 準備	30分
5回 落合	グループワーク（ミュージアムグッズを考える）	予習：プレゼンテーション準備	30分
6回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
7回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
8回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
9回 落合	2次資料作成（拓本をとる）	復習：実習内容 振り返り	30分
10回 落合	2次資料作成（拓本をとる）	復習：実習内容 振り返り	30分
11回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
12回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
13回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
14回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
15回 落合	実習旅行準備、前期まとめ	予習：調査準備	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾表現学科 4年 通年(後期) 選択 (3単位 実験実習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
17回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
18回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
19回 落合	実習旅行報告会	復習：報告会 振り返り	30分
20回 落合	2次資料作成（裏打ち）	復習：実習内容 振り返り	30分
21回 落合	2次資料作成（裏打ち）	復習：実習内容 振り返り	30分
22回 落合	2次資料作成（額装仕立て）	復習：実習内容 振り返り	30分
23回 落合	グループワーク（博物館ワークショップを考える）	予習：調査 準備	30分
24回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
25回 落合	資料取扱（紙資料）	復習：実習内容 振り返り	30分
26回 落合	資料取扱（金工品）	復習：実習内容 振り返り	30分
27回 落合	資料の梱包方法	復習：実習内容 振り返り	30分
28回 落合	資料の保存方法（脱酸素処理）	復習：実習内容 振り返り	30分
29回 落合	資料の修復方法	復習：実習内容 振り返り	30分
30回 落合	まとめ・実習室清掃	復習：振り返り（まとめ）	30分